



Title	語文 第116-117輯 目次
Author(s)	
Citation	語文. 2022, 116-117
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/90783">https://hdl.handle.net/11094/90783</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

金水敏教授・飯倉洋一教授退休記念特輯

金水敏先生・飯倉洋一先生をお送りする……………	岡島 昭浩……………1
『新可笑記』巻一の二「ひとつの巻物両家に有」考 ——松永久秀の人物造形をめぐる——……………	仲 沙織……………3
路通『俳諧勸進牒』と其角……………	辻村 尚子……………14
宝暦期艶書小説の展開——『新にしき木物語』の再検討をとおして……………	岡部 祐佳……………28
書名「奇談」素描——文事領域拡大の原動力……………	浜田 泰彦……………41
史劇改良の萌芽——依田学海・川尻宝岑合作『吉野拾遺名歌誉』を中心に……………	金 智慧……………58
データからみる中古の指示代名詞……………	岡崎 友子……………72
カの不常用法の成立、再訪……………	衣畑 智秀……………87
「キリ（ギリ）」の展開について——タ形接続を中心に……………	岩田 美穂……………98
転換を表すNハサテオキの成立過程——中古から近世前期までを対象に……………	清田 朗裕……………110
「火星」の語史——江戸・明治を中心に……………	米田 達郎……………122
近世後期大坂語資料の「ニヨツテ」が出現する構文について……………	百瀬みのり……………137
空間相対名詞について……………	

金水敏教授略歴・業績目録	167
飯倉洋一教授略歴・業績目録	185
令和二年度卒業論文・修士論文・博士学位論文（課程）題目	198
令和二年度・三年度受贈図書	200
令和三年度講義題目	201
彙報	202
中世期におけるノ・ガの分布とその崩壊	
— 『宇治拾遺物語』における人間名詞をめぐる状況から—	後藤 睦 (1)
— 関西方言の命令形式に接続する終助詞 — 助詞「イナ」「イヤ」の歴史—	森 勇太 (15)
『日本語歴史コーパス明治・大正編』雑誌』におけるトテとダツテ	高谷 由貴 (29)
日本語動詞の可變部を語幹構成要素と見做すことの妥当性	
語幹聲調の位置から導き出される語幹領域	黒木 邦彦 (44)
提喩性について	
— 語用論的コネクターから提喩をみる—	大田垣 仁 (58)
日本マンガ・アニメ文化への知的アプローチに見られる現代中国大学生の関心	
— 学部生向けの共通教育講義「日本マンガ・アニメ文化」の実践を通じて—	文 雪 (75)